

6/14 10:14受

様式8-1 (1/4)

異常事態連絡様式 (第2報以降) (原子炉施設)

※各項目について、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

平成23年 6月14日 (第336報) 発信時刻 9時45分	
経済産業大臣、福島県知事、楡葉町長、富岡町長 殿	
通報者名 福島第二原子力発電所長 増田 尚宏 連絡先 0240-25-4111(代)( )	
特定事象の発生について、原子力災害対策特別措置法第10条第1項の規定に基づく通報以後の情報を通報します。	
原子力事業所の名称及び場所	東京電力株式会社 福島第二原子力発電所 (事業区分: 電気事業) 福島県双葉郡楡葉町大字波倉字小浜作1 2
特定事象の発生箇所	福島第二原子力発電所 第 一 号炉
特定事象の発生時刻	平成 23年 3月 14日 21時 58分 15日 0時 00分
要発生した特定事象の概	特定事象の種類 敷地境界放射線量上昇 原子力緊急事態に該当 (口する, 皿しない)
	想定される原因 ■特定 福島第一原子力発電所の影響 □調査中
	検出された放射線量の状況、検出された放射性物質の状況又は主な施設・設備の状況等 別紙を参照
その他特定事象の把握に参考となる情報	被ばく者の状況及び汚染拡大の有無 (確認時刻 9時00分) 被ばく者の状況 ■無 □有: 被ばく者 名 要救助者 名 汚染拡大の有無 ■無 □有:
	気象情報 (確認時刻 9時00分) 天候 : 曇り 風向 : 方位 南 ※ 風速 : m/s 5.0 ※ 大気安定度 : B (10m) ✓
	周辺環境への影響 □無 □有: 調査中
	応急措置

※風速が0.5m/s未満の場合「CALM」(静穏)、この時の風向を「-」と表記する。

## 1号機

様式8-1(2/4)

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (G/14日09時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年3月11日 14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (G/14日09時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.05 (kg/cm <sup>2</sup> g (MPa[gage])) 上昇・下降・ <u>安定</u> 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) ↗	24.2 °C 給水ノズル温度 RHRHx(B)入口温度 CUWポンプ吐出温度
原子炉水位 →	5700 mm SHC 広域帯 燃料頂部から 9896 mm →
外部電源	受電 <u>有</u> 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電 <u>有</u> <u>無</u>
余熱除去系の機能維持	<u>正常</u> ・異常
ECCSの作動・高圧系	作動・ <u>未作動</u>
ECCSの作動・低圧系	作動・ <u>未作動</u>
全ての制御棒挿入	<u>挿入</u> ・未挿入
ボロン添加	添加・ <u>未添加</u>
主蒸気隔離弁の閉止	<u>閉</u> ・開
格納容器の隔離状態	<u>隔離</u> ・非隔離
格納容器圧力 ↘	4.0 (kg/cm <sup>2</sup> g (kPa[gage]))
格納容器スプレイ作動	作動・ <u>未作動</u>
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 24 °C → RHR(B)系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

## 2号機

様式8-1(2/4)

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (6/14日09時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成23年8月11日 14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (6/14日09時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.04 (kg/cm <sup>2</sup> g (MPa[gage])) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) ↗	25.3 °C 給水ノズル温度 RHR(B)入口温度 CUWポンプ吐出温度
原子炉水位 →	6650 mm SHC 燃料頂部から 9846 mm → 広域帯
外部電源	受電(有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電(有) (無)
余熱除去系の機能維持	(正常)・異常
ECCSの作動・高圧系	作動・(未作動)
ECCSの作動・低圧系	作動・(未作動)
全ての制御棒挿入	(挿入)・未挿入
ボロン添加	添加・(未添加)
主蒸気隔離弁の開止	(閉)・開
格納容器の隔離状態	(隔離)・非隔離
格納容器圧力 ↘	6.7 (kg/cm <sup>2</sup> g (kPa[gage]))
格納容器スプレイ作動	作動・(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 25 °C ↗ RHR(B)系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

## 3号機

様式8-1(2/4)

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (6/14日09時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成29年3月11日 14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出口名)	放出口名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (6/14日09時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.02 (kg/cm <sup>2</sup> g (MPa(gage))) 上昇・下降(安定) 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) ↗	31.9 °C 給水ノズル温度, RHR(B)入口温度 CUWポンプ吐出温度
原子炉水位 ↗	3450 mm SHC 去域帯 燃料頂部から 7646 mm ↗
外部電源	受電(有) 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電(有) 無
余熱除去系の機能維持	(正常)・異常
ECCSの作動・高圧系	作動・(未作動)
ECCSの作動・低圧系	作動・(未作動)
全ての制御棒挿入	(挿入)・未挿入
ボロン添加	添加・(未添加)
主蒸気隔離弁の閉止	(閉)・開
格納容器の隔離状態	(隔離)・非隔離
格納容器圧力 ↓	9.96 (kg/cm <sup>2</sup> g (kPa(gage)))
格納容器スプレイ作動	作動・(未作動)
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 27°C → RHR(B)系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

## 4号機

様式8-1(2/4)

【原子炉の運転に関するパラメータ】

## 1. 原子炉の状態

項目	確認時刻 (6/14日09時00分)
特定事象発生時の出力	%
原子炉停止時刻	平成28年3月11日 14時48分
炉心平均燃焼度	MWD/MTU
放射性物質の放出の有無	<input type="checkbox"/> 有り, <input checked="" type="checkbox"/> 無し
放射性物質の放出状態	(上欄で放出「有り」の場合は以下を記入)
排気筒出口	<input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止
放出口以外(放出場所名)	放出場所名: (地上高 m) <input type="checkbox"/> 放出, <input type="checkbox"/> 停止

## 2. 装置の状況

装置の状況	確認時刻 (6/14日09時00分)
1次冷却系圧力及び圧力の変化 →	0.07 (kg/cm <sup>2</sup> g (MPa[gage])) 上昇・下降・ <b>安定</b> 制御中
1次冷却系の温度(ホットレグ) ↗	30.4 °C 給水ノズル温度 RHR(B)入口温度 CUWポンプ吐出温度
原子炉水位 →	4000 mm SHC 広域帯 燃料頂部から 8196 mm →
外部電源	受電 <b>有</b> 無
非常用ディーゼル発電機運転	受電 <b>有</b> <b>無</b>
余熱除去系の機能維持	<b>正常</b> ・異常
ECCSの作動・高圧系	作動・ <b>未作動</b>
ECCSの作動・低圧系	作動・ <b>未作動</b>
全ての制御棒挿入	<b>挿入</b> ・ <sup>1</sup> 未挿入 CR10-19 ドリフト警報発生中
ボロン添加	添加・ <b>未添加</b>
主蒸気隔離弁の閉止	<b>閉</b> ・開
格納容器の隔離状態	<b>隔離</b> ・非隔離
格納容器圧力 ↘	6 (kg/cm <sup>2</sup> g (kPa[gage]))
格納容器スプレイ作動	作動・ <b>未作動</b>
その他の特記事項	冷温停止中 サプレッションプール水温度 28 °C → RHR(B)系による除熱中

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

様式8-1(3/4)  
【放射性物質及び放射線に関するデータ】

1. 放射性物質の状況

項目	評価時刻(14日 9時 00分)
評価時刻での放出量(放出率) 希ガス(Bq/h) ヨウ素(Bq/h) 総量(Bq/h)	/
評価時刻での放出量(濃度) 希ガス(Bq/cm <sup>3</sup> ) ヨウ素(Bq/cm <sup>3</sup> ) 総量(Bq/cm <sup>3</sup> )	
評価時刻までの放出量 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h) 放出開始時刻	
評価時刻以後の放出(予測) 希ガス(Bq) ヨウ素(Bq) 総量(Bq) 放出継続時間(h)	

2. 予測線量

種 類	評価時刻(14日 9時 00分)			
	日 時 分	日 時 分	日 時 分	日 時 分
全身の外部被ばくによる予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv
甲状腺の予測線量の最大地点	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv	方位 km mSv

(施設側での計算値)

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

様式8-1(4/4)

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。

注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項 目	評価時刻 (14日 8時 30分)
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機 : 2.5 cps ✓, 2号機 : 3.6 cps ✓
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機 : 3.6 cps ✓, 4号機 : 4.8 cps ✓
	Rw/B : 2.2 cps ✓

固定式モニタリング設備地点		設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
γ線空間線量率	8時10分	1.6 μSv/h	1.8 μSv/h	1.8 μSv/h	1.5 μSv/h	1.5 μSv/h	1.4 μSv/h	- μSv/h	- μSv/h
	8時20分	1.6 μSv/h	1.8 μSv/h	1.8 μSv/h	1.5 μSv/h	1.5 μSv/h	1.4 μSv/h	- μSv/h	- μSv/h
	8時30分	1.6 μSv/h	1.8 μSv/h	1.8 μSv/h	1.5 μSv/h	1.5 μSv/h	1.4 μSv/h	- μSv/h	- μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

可動地点		設備地点名				
γ線空間線量率	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線 空間線量率	設備地点名					
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名					
	時 分		Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分		Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分		Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分		Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
その他測定項目	設備地点名					
項目	時 分					
	時 分					
	時 分					
	時 分					
	時 分					

※上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。

※データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

\*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回9時00分の測定値を記載。

様式8-1(4/4)

3. 放射線モニタリングの状況

注1) 必要な情報を順次追加記入し、空欄がなくなった場合には新しい用紙に記入するものとする。  
 注2) 場所がわかる資料も添付することとする。

項目	評価時刻 (14日 9時 00分) ✓
排気筒モニタ	
格納容器排気筒モニタ	排気筒名: 1号機: 2.7 cps ✓, 2号機: 3.6 cps ✓
補助建屋排気筒モニタ	排気筒名: 3号機: 3.6 cps ✓, 4号機: 5.0 cps ✓
	Rw/B: 2.2 cps ✓

	設備地点名	MP-1	MP-2	MP-3	MP-4	MP-5	MP-6	MP-7*
	γ線空間線量率	8時40分	1.6 μSv/h	1.3 μSv/h	1.8 μSv/h	1.5 μSv/h	1.5 μSv/h	1.4 μSv/h
8時50分		1.6 μSv/h	1.3 μSv/h	1.8 μSv/h	1.5 μSv/h	1.5 μSv/h	1.4 μSv/h	-
9時00分		1.6 μSv/h	1.3 μSv/h	1.8 μSv/h	1.5 μSv/h	1.5 μSv/h	1.4 μSv/h	1.0 μSv/h
時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h

項目	設備地点名				
	γ線空間線量率	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
時 分		μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
中性子線空間線量率	設備地点名				
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
	時 分	μSv/h	μSv/h	μSv/h	μSv/h
ヨウ素濃度	設備地点名				
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
	時 分	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>	Bq/cm <sup>3</sup>
その他測定項目	設備地点名				
項目	時 分				
	時 分				
	時 分				
	時 分				
	時 分				

\*上記項目については、情報が得られたものから記入し、迅速に連絡することとする。  
 \*データについては、およその値(推定値を含む)を記載することも可とする。

\*MP-7は津波により流されたため、MP-7が設置されていた場所に可搬型モニタリングポストを設置し、γ線空間線量率の連続測定を開始しました。尚、測定値については1日1回9時00分の測定値を記載。